

MIC女性連絡会 春の学習会

「メディアのあり方と役割」を学ぶ



女性協議会

MIC(日本マスメディア情報労組連合会)女性連絡会の春の学習会が4月7日、エデュカス東京にて開催されました。「メディアのあり方と役割」と題し、講師に池田恵理子さん(レプロデュース)をお招きしました。池田さんが運営委員をされているVAWW(日本女性暴力ネットワーク)が主催した「女性国際戦犯法廷」について知るため、冒頭に「沈黙の歴史をよめ」と女性国際戦犯法廷の記録(公刊)「タイスエピソード」のビデオを視聴しました。内容は、以下の通りです。2000年12月

12日、日本軍性奴隷制を裁く女性国際戦犯法廷は延べ五千人の傍聴人が見守る中、八カ国から六四人の被害女性を迎え、三日間の審理の結果、「昭和天皇、有罪。日本政府には国家責任がある」という歴史的な判決を下しました。それはひとつの正義が語られた瞬間でした。しかし、この報道内容は、日本のメディアと海外メディアでは質と量で大きな違いがありました。国内メディアでは扱いは消極的で、昭和天皇の戦争責任が問われたことには触れない記事やニュースがほとんどでした。



講師の池田恵理子さん

「戦争をうろくか」「第二夜「問われる戦時性暴力」(2001年1月30日)では「女性国際戦犯法廷」は判決だけでなく主権国、加害証言も報道せず、被害証言はくわらずか、スタジオでのコメントターの発言も大體に改竄(かいざん)され、放送時間は通常より4分短縮されました。

この間、池田さんは番組や雑誌で誤報を流されて個人まで攻撃され、それらに对应するに苦慮されたそうです。しかしどんなバッシングを受けても、国際的な仲間たちや良心的なジャーナリストと連携して、あきらめないでやっていきたいと語ってくれました。また、扱いにくい問題や、タブーを乗り越えていくことにジャーナリズムはあつと力強いメッセージで結びました。

第42回全国女性集い

ずんばい 呑んで語りもん

～ザ・バズ・in 鹿児島～

2005年6月4(土)、5(日)

鹿児島サンロイヤルホテル、みなみホール

(鹿児島中央駅から徒歩10分)

記念講演 下村健一さん

「市民とメディアの台頭

～プロ版占の時代は終わった～」

スケジュール

<1日目>

12:00 受付開始(みなみホール)

13:00 全体会

13:30 一部 記念講演

15:45 二部 トーク&トーク

17:45 全体会終了予定

19:00 交流会

21:00 ワークショップ

<2日目>

9:00 分科会

11:50 全体会

※お問い合わせは労連本部まで

TEL 03-3355-0481

05春闘

産休・育休で前進回答

サガテレビ労組、KKT労組で

桜の開花宣言と共に、九州地連内で新しいニュースが飛び込んできました。ベア・時をばはじめ、まだまだ厳しい状況が続いていますが、私たちの仲間が勝ち取った成果を紹介しします。

産休の有給化を獲得！
サガテレビ労組

約30年の長きにわたり、会社へ粘り強く要求し続け、た甲斐あって、3月31日の二次回答で、念願の「産休

の有給化」は、女性が安心

の有給化」を勝ち取りました(二次回答は現行通り)の回答。

九州地連女性協では、産休の有給化」の組合を九州地連内からなくすことを第一目標に掲げて、三回目の春闘を迎えました。この成果は、今まさに「産休の有給化」に取り組んでいる組合へも大きな励みになるでしょう。

出産は母性を有する女性のみが存在する社会的使命です。企業における「産休の有給化」は、女性が安心

部分の定昇を勝ち取ること

して子供を産み育て、いきいきと働き続けるための環境作の第一歩です。

育休取得者の
定昇要求で有額回答！
熊本県民テレビ労組

熊本県民テレビには(会社いわく)「定期昇給という概念がなく、一年一回の賞金改定」という考え方が、本給は「一般給(年齢給)」と「特別給」に分かれてい

ます。今春闘では二次回答で、育休取得者の「一般給

ができました。「特別給」については「育休中は仕事をしないので能力を測る手段がない」ことを理由に会社は拒否しています。

熊本県民テレビ労組は今回の有額回答に対して一定の評価はしつつも、今後も特別給と過渡的な給をばつた支給を要求していく方針です。

九州地連女性協では「産休の有給化」「育休取得に伴う定昇差別撤廃」のたにかに今後も注目し、すでに勝ち取っている単組も巻き込んだ運動に広げていく方針です。

皆さんのご支援を宜しくお願いします。

6月4日、5日(鹿児島県で行なわれる「第四回全国女性集い」の分科会がほぼ決まりましたので紹介しします。(なお、内容が変更になる場合もありますので、詳細は発書でご確認ください。)

第42回全国女性集い

分科会の紹介

1. 戦後60年
平和への願いをこめ、憲法をちゃんと学ぼう

【講師】小栗 実さん
(鹿児島大学教授)

今、憲法を変えようとする動きがあります。日本を「戦争ができる国」にして

しまつのか、それとも憲法九条が守られ、平和と人権・非戦の理念を世界に向けてアピールするのか。憲法、平和について語りましょう。わかりやすく憲法を学ぶチャンスです！

2. 知野特攻平和和会館
見学ツアー

知野には太平洋戦争時、本・最前線の特攻基地がありました。特攻平和和会館は、若くして飛び立つて行った人たちの様々な記録が残されています。終戦から60年。平和について考えるきっかけにしてみませんか。

※先着100人限定。参加費別達一千五百円(入館料込み)

3. 女性と健康
くつろぎヘルスから乳がんまで

【講師】武井美智子さん
(心療内科クリニック院長)

「忙しい、忙しい」を言い訳にしているアナタ！健康は、失ってから考えるのでは遅いんです！心の風邪と云われるうつ。

女性の死に原因第一位の

4. 子どもとメディア
く親も教師も知らない

【講師】大谷 順子さん
(NPO法人「子どもとメディア」専務理事)

今、子どもたちは、携帯・PC・ゲームなど、TVや本だけでは済まされない情報の世界にどっぷり浸かっています。携帯やインターネットを使っての情報交換は日常茶飯事、犯罪にも使われかねません。メディアの送り手として、子どもたちの生活と環境をしっかりと見つめましょう。

5. 大島細体験
【講師】岩屋佐雄さん
(本場大島細物協同組合企画営業部長)

鹿児島島の伝統的工芸品「大島細」をあなたも試着してみませんか。光沢を抑えた深みのある黒色、軽くてしなやかなのに、着心地の良さ、そして独特の気品が「大島細」の魅力！先着限定15人。

※会場は本場大島細物協同組合。交通費実費。

6. ねーん？きーん？
年金・若者・夢を！
中高年に希望を！

【講師】伊藤 周平さん
(鹿児島大学法政大学院教授)

年金っていくら貰えるの？年金って将来どうなるの？今からでも遅くはない！疑問や心配をのまめにしないで、社会保険制度に詳しい伊藤先生の話しを聞いて、自分の将来設計を一緒に考えましょう。

7. 放送業界に未来はあるか？
検証！放送問題！

【講師】岩崎 貞明さん
(元テレビ朝日報道局長、現メディア総合研究所事務局長、『放送レポート』編集長)

地上デジタル放送、指定公共機関化問題、放送局の株保有問題、NHK問題など直にしている様々な課題を検証しましょう。

8. 均等法から20年
働く女性の現在・過去・未来

【講師】徳永明日香さん
(社会保険労務士)

男女平等実現、日本は遅れている。放送局は？私たちが働く女性の現状を点検し、明るい未来を見つめよう。